

そらこめ通信 No.96 2019年11月1日発行

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

9月12日(木)に地元で「刈り取り適期講習会」があり、それを受けて圃場2枚ほど試し刈りをし、籾の状態を検分したあと9月17日(火)から本格的に稲刈りを開始、9月29日(日)午後2時過ぎに全ての圃場における収穫が終わりました。刈り取られた籾は、乾燥機で順次乾燥されたのち、JA等へ出荷する分と直売用とに分けられます。JA等への出荷が始まると同時に、直売用の米については品種ごとに「籾摺り」と「袋詰め」を行い、「等級検査」を経たあと、ご注文に応じて随時精米をして皆さまの手元にお届けしています。

等級検査については、写真にある通り「ゆめびりか」「ななつぼし」「ゆきさやか」「きたくりん」「おぼろづき」など今年弊社が作付けした品種全てで全量1等米となりました。食味数値でも、タンパクやアミロースなど食味を左右する項目においてそれぞれ良い数値が出ており、自信を持って推奨できるものと思っております。皆さまにおかれましては、ぜひこの機会に新米をご賞味いただき、感想などお寄せいただければありがたく存じます。



コンバインによる稲刈りのようす(9月21日)



収穫した籾をトラックに積み込む(9月21日)



食味数値計測の為、籾のサンプルを採取



トラックに積み込まれた籾を乾燥機へ(9月21日)



等級検査を受けるために検査場に玄米を持ち込むこの日、検査を受けたのは「ゆきさやか」でした(10月10日)



サンプルの抜き取り(10月10日)



検査のようす(10月10日)



検査が終わった玄米を会社へ搬入



「ゆきさやか」1等(10月10日)



「ゆめびりか」1等(10月15日)



等級検査の結果、全品種全量1等でした～左から「ななつぼし」、「きたくりん」、「おぼろづき」



今年には台風など大雨による被害が相次いだ年でした。特に東海から南・北関東、東北にかけて大雨を降らせた台風19号は、多数の犠牲者とともに各地に大きな傷跡をもたらしました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の迅速な復興と、被災された方々が一日も早く日常生活を取り戻すことができるよう願ってやみません。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>